

第十二回 衆議院戸籍法案審査特別委員會速記録

(第四號)

明治三十一年五月二十八日午前十時三分開議

○委員長(大田信一君) ツレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ハ逐條ニ就テ御審議ヲ願ヒマス、サウシテ後トデ、全体ノ確定議ヲ願フ積デゴザイマス、先ヅ第一章即チ戸籍吏及戸籍役場ト云フ一章ダケヲ願ヒマス、第一條ヨリ第六條マデモゴザイマス

○(赤土亮君) 私ハ此第三條ヲ削除スルノ意見デゴザイマス、市町村長ヲ以テ戸籍吏トシ、即チ名望ノアル市町村長ヲ信用致シマシテ、戸籍吏トシタ時分ニハ、其戸籍吏ガ家ヲ同ジウセヌ時分ニ、一等親ノ戸籍ト雖モ之ヲ取扱ハシメマス、然ルニ僅ニ家ヲ同ジフスルト云フ廉ヲ以テ、此戸籍ノミニ於テ戸籍吏ヲ信任セズニ、別段ニ代理者ヲシテ取扱ハシメルト云フコトハ、私ハ當ヲ得マセヌト思ヒマス、其事柄ノミニアラズ、總テノ行政上ニ就キマシテモ、市町村長ガ其私ニ關シマスル事デモ、亦市町村長ノ公職ヲ以テ矢張取扱フテ居リマス、ツレカラ又小サイ村位ニナリマスルト、助役位ノ設ケノナイ所モアリマス、缺員中ノ所モアリマス、サウ云フ時分ニハ、上席ノ吏員ニ代理ヲサセルト云フケレドモ、上席吏員デハ決シテ責任ガアリマセヌ、僅カナ簿給ノ筆生ヤ、ツレ等ノモノニナリマスルト、責任ガ無イト考ヘマス、ツレヨリハ寧ロ矢張其戸籍吏ヲ信任致シマシテ、家ヲ同ジウスル者ニ於テモ、矢張其者ニ戸籍ヲ取扱ハシメタル方ガ正當デアル、殊ニ第五條ニハ監督ヲスベキ設ケガアリマス、六條ニハ故意ヲ拵ヘタリ、又ハ重大ナル過失ガアツタ時分ニ賠償ヲセニヤナラヌコトモ設ケテアリマス、ツレカラ又二百十二條二百十三條ニ行キマシテモ、矢張科料ノ條モ設ケテアリマス、而シテ又二百十六條ノ二項三項ト云フヤウナ如キデモ、皆ナ削除センナラヌコトガ起ツテ來マス、監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其事務ヲ代理スヘキ者ヲ定ムトカ、ツレカラ二百十六條ノ二項三項ヲ皆削リ積リナンドス、ツレデ市町村ノ市吏位ニナリマスルト、市長助役ト云フ者アルシ、參事會モアリマス、別段ニ不便デモアリマセヌケレドモ、町村ニ於テハ大變町村長助役等ニ缺員ノアル場合ニ、不便ヲ感ジマス、ツレカラ市町村長ノ缺員及助役ニ缺員ガアツテ、事務ヲ扱フモノガ居ラヌヤウニナツテ來マス、其監督官廳カラ命ジテ市町村長ヲ置クコトガ此法ノ精神ニナツテ居リマス、其者ニ責任ヲ十分ニ負ハセ、十分信任ヲ致シタ方ガ私ハ宜イト云フ考デゴザイマス

○(小磯進君) 私ハ先日來此案ニ就テ段々質問等ヲ致シテ考ヘテ居リマシタケレドモ、何十分ナ意見ガ立チ兼テ居リマス、併シ此儘ニ贊成スルコトニモ實ハ甚ダ躊躇スルノデアリマス、甚ダ疎漏ナ修正カモ知ヌガ、試ミニ修正ヲ致シマス、私ハ餘リ外國ノ例ナドモ存ジマセヌカラ、畢竟私ノ所見ハ或

衆議院戸籍法案審査特別委員會速記録

明治三十一年五月二十八日(第四號)

ハ當タルカ否ハ自分サヘ疑フノデアアル、此戸籍法案ノ目的、即チ此戸籍法案ノ發令、即チ施行ニナリマシテ、大ニ影響ヲ受クルコトハ、即チ所管ノ違フコトガ大体ニ就イテ戸籍カラ起ルト思ヒマス、先日來御質問ヲ致シテ置キマシタ此監督上ノ事ニ就イテハ、全ク司法部ニ移スト云フコトデ、民法ト關聯スルモノデアアルカラ、司法部ニ移ス方ガ此法ノ性質カラ申シマス、大變御都合デアラウト思ヒマス、實際施行上ニナツテハ、諸君ノ御承知ノ通り、此町村役場ト云フモノハ、勿論純粹ノ行政官衙ノミニ屬シテ居ルノデナイ、長官ハアラウトモ、純粹ノ行政部即チ府縣知事部長トカ云フモノ、外ニ、色ノ監督ヲ受ケテ居ルコトニナツテ居リマス、事務上ノ事ナドハ、矢張行政部ニ極密接ノ關係ヲ以テ居ル、ツレガ司法ト云フモノニナリマス、餘程性質ガ違ツテ來マス、勿論斯ウ云フコトニナリマシタナラバ、區裁判所ニ於テモ十分監督モ致シマセウガ、又町村役場ニ於テモ、此戸籍ノ事務ニ就テハ、此監督官廳トナツテ十分致シマセウガ、土臺ノ性質ガ餘程違ツテ居ルモノデアアルカラ、ドウモ其監督モ十分居キ兼ネルデアラウト云フ疑念モアリマス、殊ニ此戸籍ノ事務ハ矢張普通ノ行政部方ニ屬セシメテ置カナイト云フト、總テノ統計ヲナシタリ、若クハ戸籍上ニ關スル普通ノ行政事務兵事ノ事務トカ云フヤウナコトニハ、始終離レベカラザル關係ヲ以テ居リマス、特ニ監督官廳ガ違フト云フト、何カニ就イテ大變混雜ヲ來ス傾キガアラウト思ヒマス、ツレカラ又經濟上ノコトニ就イテハ、矢張郡役所トカ縣廳トカ内務省トカト云フ方デ、此戸籍ノ事務ヲ司法部ニ移シタカラト云ツテ、大ニ費用ヲ減ズルカト云フト、果シテ減ズルト云フコトハ六ヶシイコトダラウト思ヒマス、サウシテ司法部ノ方デハ、ドウデアアルカト云フト、ドウシテモ新タニ事務ヲ引受ケレバ、此間カラ政府委員ノ御説明ヲ聞イテモ、會計上ニ付テハ、分明ナル御説明ハ出來兼ネルト云フコトデアリマス、餘程費用ハ膨脹スルニ相違ナイト思ヒマス、旁々考ヘテ見ルト、是マデ通り監督ダケハ行政部ノ方ニ屬セシメラレタイ、即チ此五條ハ削除サレタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ツレコデ削除スルト大變ナ不倫ナコトガ、起ツテ來ルカト云フト、私ノ考ヘデハ格別不都合モアルマイト思フ、若シ私ノ修正ガ通りマシタナラバ、其影響トシテ全部大ニ文字ノ修正ガ必要ニナツテ來マセウガ、ツレハ此事ノ決定ヲ待ツテツレカラ述ベマセウ

○(白田省吾君) 此三條ニ就イテハ、段々此間カラ考ヘマシタガ、ナカノ良イ考モ工風モ付キマセヌガ、私ノ考デハ此戸籍吏ノ家ヲ同ジクスル云々ノ事柄バカリ上席ノ吏員ニ職務ヲ行ハセルト云フコトニ明記シテアリマス、ツレデナク、戸籍吏ノ矢張家ヲ同ジウスル戸籍身分登記ニ關スル時分ノ外、矢張戸籍吏ノ差支等ガアツタ場合モ、上席ノ戸籍吏ガ與フルコトニ此ニ修正

ヲシタイ考デアリマス、ソレデ文章ハドウデアアルヤト云フト、文章マデハ考案ガ付キマセヌガ、ソレニ就イテ政府ノ御見込ト云フモノハ、今ノ修正案ノヤウナ意味ニシマシテハ如何デスカ、尙ホ重ネテ御辯明ヲ願ヒマス

○委員長(大田信一君) 白田君へ御注意シマスガ、今ノ白田君ノ御心配ノコトハ、即チ此戸籍吏ナルモノハ、町村長若クハ區長ヲ以テ扱ヒマスル曉ニハ、勿論町村制ノ規定ニ依テ扱ハセルコトニナラフト思フ

○(白田省吾君) ソレハ成程政府委員ニ伺ヒマシタガ、ドウモ此戸籍法ニ明カニシタガ迷ハヌト考ヘルカラ、サウシタノデスデアルト町村制ヲ利用スルコトガハツキリ分ラヌカラ迷ヲ生ジヤウト思フカラ、一寸伺ヒマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ御説ニ依ッテ、チヨット一言申上ゲマスガ、如何ニモ此法案ニ於キマシテ戸籍吏ト云フ特別ノ名稱ハ付シテゴザイマスガ、先日モ申上ゲマシタ通り、總テ是ハ町村制ニ依ッテ職務ヲ行ハセル積リデアリマス、若シ之ヲ市町村別ニシテ、此法案ノミデ完全ナ規定ヲ置カウト云フコトニシマシタナラバ、戸籍吏ガドンダケノコトヲ管轄スル、其土地ノ區域モ定メナケレバナラヌコトニナリマス、併シナガラ是等モ總テ町裁判ノ規定ニ依ッテ、即チ自分ノ擔當シテ居ルダケノ町村内ヲ管轄スルコト云フコトハ、此法案ニハ明示シナイノデス、唯今御話ノ戸籍ガ差支アルトキノ代理法ノ云フモノハ、委シク市町村制ノ方ニ規定ガゴザイマスカラ、此法案ニハ特ニ其事ハ掲ゲナイノデゴザイマス、唯其第三條ヲ置キマシタノハ、過日モ申述ベマシタ通り、是ハ假令戸籍吏自身ニ差支ヘト見ナクテモ、斯ウ云フ時分ニ、職務ヲ行ハセルト云フコトハ、誠ニ嫌疑モアリ、或ハ又法律ハ其人ヲ犯罪ニ導クト云フヤウナ懸念モアリマスカラ、特ニ此場合ニ限ッテ、法律ハ戸籍吏ニ職務ヲ行ハセヌタメニ特別ノ規定ヲ設ケタノデゴザイマスカラ、其ノ他ノ事ハ別段規程センデモ明瞭デアラウト云フ考デゴザイマス

○(白田省吾君) 唯今政府委員ノ御答辯ニ依ッテ見マスルト、六條ナドモ矢張サウ至ルカト考ヘル、町村制ニハ矢張過失ノアル場合ニハ斯ウ云フ處分ヲスルモノデアルト云フコトハ、成文ニ明カニ説明シテアル、ソコニ依ルト、矢張戸籍吏ガ不都合或ハ職務ノ過失ガアルナラバ、町村制ニ依ッテ處分ヲスルコトハ敢テ差支ナカラウト私ダケハ考ヘル、ソコハドウ云フ御都合デゴザイマス

○政府委員(高木豐三君) 是ハ定メテ倉富君カラ御話ヲ致サレタ事ト考ヘマスガ、此六條ノ規定ハ實ヲ申シマスルト、無クテモ宜イト申シテ宜イノデゴザイマス、是ハ動産登記法ニモ置カレテアリ、同一ノ斯ウ云フ條文ガ出タノデアリマスガ、是ガナクテモ宜イ、市町村制トカ何トカ云フ特別ノ法律ニ依リマセタデモ、唯民法ノ原則ニ據リマシテ、不法行為デ此賠償ノ訴ト云フモノハ出來ル事ニナルノデアリマス、唯併シソレヲ民法ノ方ニバカリ委シテ置キマスルト、又是ヨリ責任ガ重クナッテ、輕過失デモ賠償ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フ結果ヲ來シマスノデ一面カラ見マスルト、或ハ戸籍吏ニ從來ノ

責任ヲ負ハシタヤウデアリマスケレドモ其實ハサウデナイ、之ヲ削ッテ民法上デ行キマスレバ、故意ハ無論ノ事、小過失其他輕過失ニ至ルマデモ、賠償ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フ結果ヲ來シマス、寧ロ此條ヲ置イタノハ、輕過失ダケヲ免除スルコト云フ方ノ趣意カラ出テ居ルモノデ、市町村制ノ方ガ責任ガドウ云フ具合ニ定ッテ居ッタカ、一寸唯今記憶致シマセヌガ、是ハ寧ロ職務上ノ制裁デハナクシテ、全ク是ハ民法上ノ原則ヲ幅ヲ狹ク載セタモノト考ヘ下サレバ宜シイノデゴザイマス

○(片岡勇三郎君) 一寸御尋致シマスガ、第三條ニ就テ、唯今削除説ガ出テ居リマスガ、一体第三條ト云フモノ、中ニ、戸籍吏ト家ヲ同シクスル者ト云フダケニ就テノ規程デアリマスガ、町村制ナドニ依テ見マスルト、父子兄弟ノ緣故アル者ニ就イテハ、村長ニナレナイトカ、議員ニナレナイトカ云フヤウナ事ガアリマスガ、コノ家ヲ同シクスル所ノ村長若クハ區長ト云フヨリモ、寧ロ其區長村長ニ對スル父子兄弟ト云フ方ガ、大變關係カ厚イノデアルカラシテ、サウ云フ者ニ就テ、職務ヲ取扱ノ上ニ於テ、吏員上席者ニ取扱ハセルトカ、或ハ市參事會員ノ一人ニ取扱ハセルトカ云フヤウナ事ニナッテ宜カラウトカ、思フヤウデアリマスガ、其邊ハドウ云フ所カラ、此三條ト云フモノハ、唯戸籍吏ト家ヲ同シクスルモノニ限ッテ、特別法ヲ規程シタモノデアリマセウカ、少シク分リカネテ居リマスカラ、其法文ノ由テ起ッタ趣意ヲ伺ヒタイ

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、勿論其極端ニ行キマスレバ、何所マデモ際限ノ無イコトデ、親族ハ申スマデモナク、或ハ豫テ懸念デアルト云フヤウナ者ヲ考ヘテモ、幾分ノ嫌疑ヲ措ク理由ハ出テ來ラズ、併シナガラ、此第三條ハ削除ヲシタイト云フ御意見モアル位デゴザイマスカラシテ、先ヅ法律ハ戸籍吏ハ正當ニ職務ヲ行フモノデアルト云フコトヲ土臺ニ据ヘマシテ、唯自分ノ家ノ戸籍或ハ身分登記ニ關スル事ダケヲ避ケルヤウニシタナラバ、其他ハ假令親族ノ關係ガアッテモ、別段其嫌疑ヲ置クニハ足リマイト云フ考ヲ以テ、時分ノ家ノ戸籍或ハ身分登記ニ關スルダケヲ、此ノ如クニシタ譯デゴザイマス

○政府委員(高木豐三君) 尙ホ一言ヲ補ッテ置キタウゴザイマスガ、唯今ノ御疑ノ所ノ我々ノ中ニモ起リマシテ、實ハ正格ニ論シマスルト、親族ノ關係ノアルモノハ、家ヲ同シクスルト同シクセザルトヲ問ハズ、悉ク避ケルナラ避クベキモノデアルト云フコトヲ認メテ居リマス、併シナガラ私共モ矢張田舎ノモノデアリマシテ、能ク地方ノ狀況ヲ考ヘテ見マスルト、凡ソ一村一町ト云フ處ニ、先ヅ市町村長トナリ、即チ此戸籍ノ職務ヲ兼ネマセウト云フモノハ多クハ今日ハ必スサウデモアリマスマイガ、名望ノアル者ガ多イサウシテ見ルト、若シ之ヲ親族關係ノアル者ハ皆省クト云フコトニナルト、或ハ其一町村内ニ殆ンド其重立タモノハ、皆親類デアアル、斯ウ云フヤウナ場合ガ實際多カラウ、マア現ニ私共ノ知ッテ居リマス所デモ、隨分ソレガ多イノデアリ

マス、サウ云フ事ニシテ置イテハ、實際職務ニ差支ノ生ズル場合が多クテ、不都合デアラウカラシテ、先ヅ家ヲ同ジウスルト云フ位ノ所デ、範圍ヲ定メタガ宜カラウト云フコトデ、斯フ云フ具合ニナツテ居ルノデアリマス。

○(片岡勇三郎君) 私モ此第三條ニ付イテ段々考ヘテ見マスルシ、又政府委員ノ御辯明ニ依ッテ熟考シテ見ルト、ドウモ是ハ修正シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、併シ御隣リノ修正説トハ違ヒ、まるで削ルト云フコトデナク、第三條戸籍吏ノ戸籍又ハ之ト同シクスル者ノ「ト云フ又ハト云フ」下カラ者ト云フ字マデノ數字ヲ削ッテ、サウシテ次ノ二項ハマルデ削除シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレデ其理由ト云フモノハ、戸籍吏ノ戸籍ト、ソレカラ身分登記ニ關スルコトダケハ、市長村長ナリ又ハ區長ナリナラバ市町村制ニ依テ事務ヲ取扱ヒマスル所ノ上席吏ト云フモノモアリマスルカラシテ、町村役場ニシマスレバ助役、又ハ區役所ニ致シマスレバ區長代理ト云フモノガアリマスカラ、ソレガ取扱フコトニ致シマシテ、ソレデ家ヲ同ジクスルト云フコトハ、家ヲ同ジクスルト云フコトノタメニ、戸籍吏ノ取扱ガ出來ナイト云フナレバ、是ヨリ尙ホ關係ノ深イ所ノ父デアルトカ、母デアルトカ、若クハ兄弟デアルトカ云フモノハ、ドウシテモ取扱ガ出來ヌト云フ規定ヲ設ケルガ相當デアルト思ヒマス、若シ家ヲ同ジクスル者ノミヲ戸籍吏ガ取扱フコトガ出來ヌト云フコトデアッテ、却ッテ關係ノ深イ親族ト云フモノハ是ヲ加ヘナケレバナラナイガ、寧ロソレヲ省イテ置ク以上ハ、戸籍吏ノ一身ニ關スル所ノ身分登記デアルトカ、或ハ戸籍吏ノ戸籍ダト云フ範圍ヲ狹クシテ、サウシテ三條ヲ設ケルト云フコトハ當然デアルト思ヒマスカラ、ソレ故ニ此戸籍又ハ云々斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス。

○(安藤龜太郎君) 此第三條ニ付キマシテハ、種々ナ修正ガ出マシタガ、私モ此條ニ付イテハ修正致シタイト云フ者デゴザイマス、是ハ家ヲ同ジクスル者ノ戸籍登記事件ニ關係シテ時分ニスルコトガ出來ナイト云フコトデゴザイマスカラ、是ハ私ハ範圍ヲモ一少シ廣クシテ置キタイト云フ者デゴザイマス、デ文字ノ修正ハ、戸籍吏ハ戸籍又ハ身分登記ニ關スル事務執行ニ就テ故障アルトキハト云フ様ナ意味ニシテ置キマスルト、家ヲ同ジクスル者ノ戸籍登記ニ關スル場合、或ハ其他親戚ノ身分登記戸籍ニ關スル場合又病氣其他ノ故障ノ場合デモ、此代理者ガ戸籍吏ノ職務ヲ行ウト云フコトニシテ置キマス、大變宜カラウト思ヒマス、寧ロ範圍ヲ廣クシテ置イタ方ガ宜カラウ、サウシテ此第二項ノ方ハ寧ロ削除シテ第一項ノ方ダケデ少シモ差支ナイト云フ考デゴザイマス、ソレカラ第五條ニ就イテ削除説ガ出マシタガ、是ハ私ハ贊成デゴザイマス、其削除ノ理由ニ就キマシテハ、既ニ縷々御述ベニナツテ居リマスカラ、私ハ別段申ス必要モゴザイマセヌガ、實際此登記ニ戸籍ニ關スル事務ハ、裁判所ノ監督ニ付スルヨリハ、矢張即チ司法行政事務ニ屬スルヨリハ、全ク行政官ノ監督ヲ受ケサセタ方ガ非常ニ便利デ、先年モ不動産其他ノ登記ニ就キマシテハ、區裁判所デ監督スルト云フコトニナリマシテ、其後ノ

模様ヲ見ルト、ナカナカ裁判所ガ監督ヲシマシテモ監督ガ十分行居イテ居リマセヌ、都會ナドハ能ク存ジマセヌケレドモ地方ナドヘ行クト、ナカナカ其事務ガ行居イテ居リマセヌノデ、又即チ行政監督官郡長ナドガソレヲ監督ヲシマスルト、平素此市町村長ナドハ市役所或ハ郡役所等ハ始終用事モアツテ來マスカラ、能ク職務ノ取扱等ヲ聽キ、又打合せ等ヲシテ、郡長或ハ市長ナドモ度々自分ノ管轄役場ヲ視廻ッテ、事務ヲ監督スルト云フコトハ、事實ニ於テ明カデゴザイマス、成程此區裁判所ノ監督ニシマシタナラバ、監督官ニ對シテハ、又ソレゾレ規定法モアリマスデセウガ、實際ニ於テハ、行政官ノ監督ノ方ガ便利デゴザイマス、ドウモソレコレノ實際ノ事務ノ滯滞ヲ避ケ、敏活ニ事ヲシ監督ノ實ヲ舉ケルト云フニハ、ドウシテモ、行政官ニ監督ヲサセタ方ガ至便デアラウト云フ考デ、第五條ハ削除説ニ贊成致シマス。

○政府委員(高木豐三君) 唯今此ノ五條ノ削除説ニ就イテ御贊成ノ意見ガアリマシタガ、之ニ付テハ、御承知ノ通りニ、政府委員ガ實ハ本當ノ司法省ノ人間デアリマスデ、甚ダ都合ガ惡イノデスガ、司法省ノ打明ケテ内情ヲ御話致シマスルト、無論是ハ司法省ニ附ケタイトカ、内務省ノ事務ヲ此方ニ取リタイトカ云フノデアリマセヌ、元來民法ヲ制定スルニ就キマシテ、民法ノ起草委員並ニ調査委員ノ説デ、ドウモ此ノ如キ今度ノ民法ガ定ッテ見ルト云フト、全ク民事上並ニ財産上ノ權利監督ノ基本トナルモノニナル、恰モ不動産ニ於ケル登記簿ノ如キ關係ヲ有スルモノデアッテ、性質カラ見テ、ドウシテモ、是ハ行政官ノ職權ニ任セテ居ルモノデアナイト云フコトガ、一般ノ法理及ビ先ヅ今日ノ民法ノ法律ノ上カラソウ云フコトニナリマシテ、サウシテドウ云フ模様デアアルカト云フノデ、實ハ内務省ノ方ノ模様ヲ問合セマシタ、内務省ノ事ヲ打明ケテ致シマスルガ、實ハ内務省ノ方デモ、此先年二十三年ニ戸籍法第二讀會マデ經マシテ、貴族院ダケハ通過シマシタ、法案ヲ拵ヘタ時分ノ當局者黒田綱彦ナドニモ問合セシタ所ガ、ドウモ前ノ法案ヲ提出スルトキニ、實ハ内務省ノ方デモ、監督權ヲ司法省ノ方ニ移シタ方ガ宜イト云フ感覺ヲ有ッテ居ッタノデ、併シナガラ、是マデノ行掛リモアルノデ、斯ウ云フ法律モ改メズ、其儘ニナツテ居ッタト云フヤウナ次第デ、内務省ノ方ノコトヲ聞イテ見マスルト、御承知デモアリマセウガ、元ハ戸籍局ト云フテ一局ヲ有シテ居リマシテ、中々盛シデアッタ所ガ、改革ト共ニ、段々小サクナツテ、或ハ警保局ニ附キ、或ハ庶務課ニ附キ、又此頃デハ官房トカ文書課ト云フヤウナ所ニ其内務省ノ中デスラ、ドウモ此方デモナイ彼方ヲニ押ヤリシテ、持テ餘シテ居ルト云フヤウナ有様デアアル、サウ云フ所ニ以テ來テ、六ヶシイ民法ナドガ出來マシテハ、トテモ郡役所ナド取締リハ覺束ナカラウ、ソレデ若シ司法省デ取ルト云フナラバ、ソレハ極宜カラウト云フノデ、斯ウ云フヤウナ譯合デ、斯ウ云フ規定ニナリマシタ、成程チヨット考ヘルト、戸籍ト云フモノガ市町村デアアル、全ク内務省ノ主管ニ屬シテ居ルト云フモノヲ、今俄カニ司法省ニ附ケルト、如何ニモ激變ノヤウニ御考ニナルデアリマセウガ、其實

ハ決シテサウデナイノデアル、唯司法部ニ附クト云フ所カラ、裁判所ノ監督ニ屬スルト言ヒマスガ、是マデノ郡役所ト戸長役場トノ關係ノ如キモノハ、ナイデアリマス、今後ハ此戸籍法ニ依ッテ、戸籍吏ガ仕事ヲスルダケデアツテ、何カ疑デモアレバ、司法省ナリ、便宜ニ依レバ、裁判所ニ問合セテモ宜イガ、昨日モ申ス通り、當分ノ内疑義ガアレバ、司法省ニ直接ニ問ヒ合セルト云フヤウナコトニ致シマス、實ハ監督ト申シマスノハ、時々見廻ッテ不都合ガアルカナイカト云フ位ノコトデ、今日ノ如ク總ベテ伺ヒテ經ナケレバ出來ナイ、許可ヲ受ケナケレバ出來ナイト云フヤウナコトハ、今後ナイ積リデアリマス、サウ云フ次第デ、決シテ事務ノ滯滞ヲ來ストカ、之ガタメニ、人民ノ方ニ迷惑ヲ來タスト云フヤウナコトハ、毛頭ナイ積リデアリマス

○(和波久十郎君) 此第三條ノ所ニチヨット此家トアリマスノハ、其一番屋敷一町歩ノ屋敷二十戸二十戸ト云フモノガアリマスガ、之ヲ皆家ト云フノデアリマス、十戸ニナッテ居レバ、一戸ダケガ家ト指スト云ト云フノハ、無論ノコト、考ヘマスガ、是ハドウデアルカ、其邊ヲ、ソレカラ第五條ニ此區裁判所ノ判事ニ此事務ヲ扱ハセルトスルト、凡ソ其今日ノ儘デ到底是ダケ事務ヲ扱フト云フコトニハ出來ナイと思ヒマス、其判事ノ數ト云フモノハ、ドレ位増スモノデアリマス、監督ハ此儘デ出來ルデアリマセウカ、其邊ノ所ヲ

○政府委員(高木豐三君) 御答致シマスルガ、今日ノ所デ、此戸籍吏ノ監督ノタメニ、人員ヲ増スト云フヤウナ考ハゴザイマセヌデ、其譯ハ前ニモ述ベマスル通り、此監督ノタメニ、區裁判所ノ方ニ事務ノ殖ヘルト云フ考ハナイノデアリマス、勿論此跡ノ報告ノ規定ニ依リマシテハ、戸籍吏ノ不當ノ處分ヲ爲シマシタトキニ、抗告ヲ爲シマスル、裁判ノ事件位ハ殖ヘマスルト考ヘマス、又不動產登記所ヲ巡回致シマスル時分ニ序デニ戸長役場ノ戸籍ノ身分登記ヲ見ルト云フ位ノコトハ出來テ參リマセウト考ヘマシテ、此巡回等ニ就イテハ、多少ノ時間モ殖ヘ、費用モ從ッテ増スデアリマセウ、是ハモウ聊カノモノデアリマセウ、特ニ人員ヲ殖ヤスト云フヤウナ見込ミハ更ニアリマセヌ

○政府委員(倉富勇三郎君) 第三條ノ之家ヲ合シクスル者ト云フ家ト云フコトニ付テ御答致シマスガ、是ハ決シテ有形ノ建物即チ家ガ十アルトカ一ツアルトカ云フヤウナコトヲ想像シタモノデハゴザイマセヌ、全ク同一戸籍内ニ在ル者ト云フコトデアリマス、之ヲ分リ易ク申セバ、戸籍吏ノ家族ト云フヤウナコトニナリマスノデゴザイマスガ、戸籍吏ガ必ズ其家ノ主人デナイト云フ場合ヲ考テ、同一ノ戸籍内ニ在ル者ト云フコトニ御解釋下サレバツレデ宜イノデ

○(丸山嵯峨一郎君) 此三條ノ修正說ニ付キマシテ、昨日戸籍吏一人ト云フ說ガアリマス、私ノ考デハ矢張此三條ハ此通りデ丁度折衷シテ安排ガ能ク出來テ居ルト思ヒマス、其譯ハ此三條ト云フモノハ、元ト理屈一方ニ拵ヘタモ

ノデハナイ、俗情ニ適シ易イヤウニ造ッタモノデアッテ、故ニ此三條ノ精神ト云フモノハ、戸籍吏杯ガ餘リ多ク情實ニカラマッテ、情實カラ過失ヲ來ス憂ガナイヤウニシタイ、斯ウ云フ精神デアリマス、デアリマスカラ此條ヲ設ケルト云フコトニナルト信ズル、其精神カラモウ一ツノ家ヲ同ジウスル者ヲ除クト云フコトニナリマス、此精神ガ薄クナッテクル、戸籍吏自身ニ付イテ情實ニカラマル、ソレハ私慾ニ當ルカラ、其方ヨリモ情實ニカラマルノハ……ソレデアリマスカラシテ是ト家ヲ同ジウスルモノハ、是非此際必要デアラウト思ヒマス、唯反對ノ方カラ申シマス、親戚悉ク情實ニカラマル原因ガアルヂヤアナイカト云フコトヲ申シマスケレドモ、ソレハ餘リ範圍ガ廣クナリマシテ、取扱上甚ダ都合デアリマスカラ、詰リ二ツノ修正說ノ中間ニ立ッテ居リマスカラ、兩方讓合シタ所デ、三條ガ出來テ居リマス、ソレデ原案ノ通りニ本員ハ賛成致シマス、且ツ第五條ノコトニ付キマシテ修正削除スルト云フ考モアッタヤウデアリマスガ、是ハ實際ニ付イテ見マスルト云フト、此戸籍身分登記ト云フモノハ、從前ヨリ今度民法ノ制定後ニナリマス、餘程確實ニシナケレバナラヌ、其影響ハ實ニ非常ナコトデアリマス、且條約實施後ニナリマス、到底此司法ノ監督デナケレバ整理ガ出來マイト思ヒマス、現ニソレ等ノ關係モナイ、今日ニ於キマシテモ不動產ナドノ登記ニ付イテ見マシテモ、之ヲ司法ノ監督ニ致シマシテカラハ、隨分宜シクナッテ參リマシタ、隨分缺點モアリマスケレドモ、吾々ノ經驗シテ見マス所ニ依リマス、餘リ不正ナコトガナイヤウデアリマス、ソレト同ジコトデ此戸籍ニ關シマシテモ、今日ノ行政廳ガ監督ヲスルヨリモ、司法裁判所ニ附スル方ガ事實ノ上ニ於テモ非常ナ確實ニ出來ラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ五條ノ削除即チ之ヲ是迄ノ通りニ行政ノ監督ニ附シテ置クト云フ說ノ方ハ、反對デアリマス、無論此通りデ差支ナカラウト信ズルノデアリマス

○(小磯進君) 先刻政府委員カラ御辯明ガアリマシテ、詰リ是ガ今日迄行政吏ノ監督ニ屬シテ居ッタモノヲ司法行政ニ移シタ所ガ、激變スルモノデナイ、格別變リハナイノデアルト云フコトノ御辯明デアリマシタガ、成程其實ニ於テ變ルコトハ感シナイ、殊ニ色々政府委員ハ司法省ニ居ラレル御方デアアルカラト云フ御斟酌モアリマスガ、私等ノ考デハ寧ロ司法省デハ、斯ウ云フ著蠅イ注文ヲ引受ケルコトハ、餘儀ナク御引受ケニナッテラウト位ニ迄感シタノデアリマスカラ、決シテ其邊ノコトニ斟酌ハアルマイ、唯其私杯ノ斯ウ云フ意見ヲ提出シマシタト云フノハ、別ノ事柄ニ於テ激變ト云フコトハナイノデゴザイマスケレドモ、今俄ニ此監督ヲ他ニ移スト云フコトニナルト云フト、全体ニ付イテ今迄其ヤリ來リマシタ習慣ガ、吾々ノ頭ニ浸込シテ居ルカラ困ルカモ知レマセヌ、併ナガラ現在ニ依ッテ見マス、凡テノ戸數ナリ人口ナリノ凡テノ事ニ關スル統計ヲスルト云フヤウナコトニ付イテモ、始終内務ニ屬シテ居リマスノデ、内務省カラ府縣カラ郡市町村役場ト云フヤウニ系統的ニ續イテ連絡シテヤリツ、アルコトデアルガ、是ガ今日色々變ッタ即チ部類

ニナッテ居ル所ノ司法部ニ移スコトニナリマス、公務ノ間ニ於テハ、ソレ等ノ統計ヲ爲スコトモ、非常ナ繁雜ナコト、感ズルコトニナッテ來ル、先刻申ス通り兵事ノコトニ付イテハ、戸籍トハ密接シテ居ル、勿論町村長ヲ以テ戸籍吏トシテ居ルカラ、町村長ハ徵兵ノ事務ニ關係有シ居ッテ、所謂郡長縣知事ノ監督ヲ受ケナガラ兵事ノ事務ニ從事シテ居ルカラ、其町村長ガ戸籍吏トシテ自分ノ持ッテ居ル所ノ戸籍簿ニ照シテスレバ、格別ナコトハアリマスマイケレドモ、昨日御尋ヲシマシタ姓名ノ改稱トカ云フコトニ付イテハ、矢張從前ノ通り行政官ニ任スコトニナル、徵兵適齡ノ者ノ氏ガ變ルトカ、何時名ガ改稱ヲシタト云フ如キ、凡テノ事ガ郡役所ニ於テ知ラズニ居ルト云フヤウナコトデアッテ、今迄ハ始終町村役場ト殆ド郡役所ガ密接シテ居ルモノガ、マルデ戸籍ノ事務ニ付イテハ關係ヲ離レテ仕舞フ、大變其邊ニ付イテ不都合ガ起リハシナイカト云フ心配ニ過ギナイ、ソレデ監督ノコトニ付キマシテハ、成程此間カラ段々御話ノアリマス所ヲ伺ヘバ、區裁判所ノ判事ガ戸籍役場ヲ巡廻スルト云フコトモアリマスカラシテ、時々巡廻ニナルカモ知レマセヌケレドモ、戸籍事務ノ如キハ制裁モ嚴シクナリマスルカラ、十分運ブヲ知リマセヌケレドモ今日ノ所デハ兎角郡長ハ廻ラナイ、郡役所ノ書記ト云フモノハ、種々ナ用務ヲ帶ビテ、始終役場ヲ巡廻スル他ニ是ニ色々ナ監督ヲ加ヘテ、サウシテ僅ニ今日ノ戸籍ヲ整理シテ居ル位ノ所ニ持ッテ往ッテ、區裁判所カラ巡回サレテモ判事ノ巡回ハ年ニ一回カ二回デ書記モ巡回ノタメニ餘計書記ヲ置クコトハ出來ナイ、ソレ等ノコトカラ考ヘテ見マスルト、監督モ十分居カナイト思フ、ソレ等ノコトヲ考ヘテ見マスルト、詰リ性質上トナタカノ御説モアリマシタガ、不動産ノ登記ハ戸長役場ノ時分ニハ、種々不正ナ事ガアッタリ、不整理ナコトガアッタガ、司法部ニ移シテ宜クナツタコトモ、私モ知ッテ居ルケレドモ、不動産ハ戸籍トハ違フ、戸籍デモ隨分利益ノタメニハ不正ナコトヲシナイト云フ限リモナイノデゴザイマスカレドモ、自カラ少シ違ヒマセウカラ、民法ニ關係ノアル戸籍ノ事務ヲ行政官ニ任シタカラト云ッテ、格別ナ不都合ハナイ、條約改正ニナレバ、法律ヲ解釋スル腦力ヲ持タナイヤツガ監督シテハイケナイト云フコトガアリマセウケレドモ、今日ノ戸籍吏ナリ兎ニ角民法ヲ解釋スル能力ノナイモノモアリマスマイカラ、實際ノ運ビ上、行政部ニ廻ハシタラ宜カラウト思ヒマス

○(赤土亮君) 私ハ此家ト云フコトニ就イテ、ドウモ政府委員ノ答辯ニ少シク疑ヲ抱クノデアリマス、第三條ノ家ト云フ字ハ、戸籍ノ同一ナルコトヲ指シタトスル時分ニハ、一軒ノ内ト云フ見解ヲ下サナケレバナラス、其内ニ同居ナリガアルト、ソレモ加ッテ行クト云フ見解ガ起ル、家ト云フ字ニ付イテ、モウ一度……

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ家ヲ同ジフスルト書イテ、同一戸籍内ト云フコトニ取ルハ、少シ耳新イヤウデアリマスガ、是モ民法ノ用語ニ基イテ用ヒタモノデ、同一戸籍内ト云フトキニ、家ヲ同ジフスルト云フ言葉ヲ用ヒテ

アリマス、是カラハ解釋上一定スルモノト思ヒマス

○政府委員(高木豐三君) 先刻ノ小磯君ノ御論ニ對シテ御參考マデニ申シマシガ、今日マデ出シタ人事ニ關スル訴訟ハ、隨分數ガ多イ其時ノ證據トシテ提出スルモノハ、何デアアルカト云フト、是マデハ戸籍ノ寫シト云フモノガ多ク土臺ニナル所ガ、若シ三條ノ二項ヲ取除イテ自分ノ同居シテ居ル者ニ就イテモ、矢張自分ノ登錄ヲシテ居ル事ニナルト、謄本ナドヲ證據トシテ提出シタトキニ、ドウモ自分ノ内ノ事ヲ自分デ登錄シタト云フコトニナル、戸籍吏ガ戸主デナイコトモアリマセウガ、多分ハ戸主デアル、サウスルト自分ガ居出デ、自分ガ登錄スルト云フコトニナッテ、公正ノ證據力ヲ有スルモノトシテ、裁判所デモ大ニ困ル譯ナノデ、家サヘ異ニシテ居レバ、親族關係ガアッテモ大イニ違フコトニナリマスカラ、公正ノ證據力ヲ有スルモノト認メル上ニ就テモ、大ニ都合ガ宜イノデアリマス

○(赤土亮君) 同居ト云フコトニ付テ、家ヲ同ジウスルハ、戸籍ヲ同一ニスルト云フコトデアアルト云フコトデスガ、同居ト云フコトニナルト、即チ經濟ヲ同ジウスル同居モアリマセウ、又經濟ヲ異ニスル同居モアリマセウ、家ト云ハズニ一戸籍内ト云フコトニナリマセヌカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 御尤デアリマスガ、家ト云フ文字ヲ民法ニモ使ッテアッテ、子ハ父ノ家ニ入ル、妻ハ夫ノ家ニ入ル、何ハ何ノ家ニ入ルト云ッテ、總テ家ニ入ルト云フハ、其戸籍ニ這入ルト云フ趣意ニナル、家ヲ同ジウスルト云フコトハ、戸籍ヲ同ジクスルト云フコトニナル、是ハ後デ疑ガアレバ、明瞭ニスル途ハ幾ラモアラウト思ヒマス

○(赤土亮君) 五條ヲ削除スルニハ反對デハ、郡役所ナリニ直接ノ關係ガアルコトデアアルカラ、是ヲ司法部ニ移スハ、大變不便ト思ヒマス、是マデモ此刑事ニ關スルコトニナルト、別段ノ取扱デ、即チ町村役場カラ居出ル、役場ノ都合ニ依ルト、刑事ニ戸籍衛生ト云フヤウニ掛リヲ分ケテ扱フテ居ル所モアリマス、ソレデ、ドウシテモ之ヲ削除スルト云フコトニナルト不便ト思ヒマス

○(三輪潤太郎君) 是ヲ決定ニナルニハ、民法ノ決定マデ延期ニナルノデスカ、昨日缺席シマシタカラ……

○委員長(大田信一君) 今日逐條審議ヲ一通リ済マシテ、其上民法トカ法例トカ云フモノニ就イテ、變更ガアッテ、第何條ト云フノガ變ツタトカ云フトキハ、コチラデモ又變更ヲ來サナケレバナラスコトガアラウト思ヒマスカラ、本日逐條審議ヲ煩ハシテ、其上他ノ法典ノタメ、コチラデモ變ラナケレバナラストキニハ、夫ヲ訂正スルト云フ順序デ、即チサウ云フ條件ヲ付ケテ御運ビニナリマスコトヲ願ヒマス——御議論モ盡キタヤウデスカラ、採決致シマス、御注意マデニ申シマスガ、一章ニ付イテ御意見ノ出テ居ルハ、赤土君ノ三條ノ削除説、片岡君ノ三條ノ修正説及ビ安藤君ノ御説デゴザイマス、此三説共ニ賛成ガアリマセヌ、唯今問題トナッテ居ルノハ、即チ小磯君ノ第

五條ヲ削除スルト云フ御説デゴザイマス、夫レデ小磯君ノ説ニ就テ採決致シマス夫カラ申上ゲテ置キマスガ、採決ノ方法ハ慣例ニ依リマシテ、採否ヲ起手デ表シテ戴タキマス、此一章中ノ第五條ヲ削除仕様ト云フ、即チ小磯君ノ説ニ御同意ノ方ハ起手ヲ乞ヒマス

舉手者 少數

少數ヲ消滅致シマシタ、其他御意見ハゴザイマスケレドモ、各消滅致シタモノト見マス、原案ニ就テハ別段御意見ガナイモノト見テ、第二章ニ移ルコトニ致シマス

○(丸山嵯峨一郎君) 是カラズット一度ニヤリタウゴザイマス、一章一章ニヤルハ煩ハシイカラ……

○(三輪潤太郎君) 私ガ前伺ヒマシタノハ、即チ此事デゴザイマス、詰リ民法ノ方ニ關係ヲ及ボシテ居ルノデ、之ヲ今ドレヲ削除スルトカドウスルト云フ事ハ、固ヨリ私共法律ニ暗イモノデアリマスガ、之ヲ修正増補ト云フコトハナカク出来兼ネル事ト思ヒマス、ドウカ大體ノ上ノ質疑ヲ致シテ共ニ研究ヲ致シテ置キマシテ、ドレヲ削除スルト云フ事ハ、決シテ置クト云フ事ハ却ッテ致サヌ方ガヨカラウト云フ考ヘデアリマスカラ、先刻一寸御尋ネ致シマシタ

○政府委員(高木豐三君) 政府委員トシテ委員長并ニ委員諸君ニ御尋ガゴザイマスガ、唯今ノ御論ハ誠ニ御尤ナ事デ、順序カラ申シマスレハ、サウナリテハナリマセヌ事デアリマスガ、御承知ノ如ク、今度提出ノ法案ハ數多イ事デアリマス、而シテ其法案ガ細密ニ論シマスルト、總テ民法商法ニ關係ノナイ法律ハナイト申シテ宜シイ、其法律ノ案ト云フモノハ貴衆兩院ニ分ッテ皆提出ニナッテ居リマス、今日開ケテ居リマス委員會モ種々ゴザイマスガ、現ニ不動產登記法案モ民法施行ノ結果デゴザイマス、是ハ貴族院ノ本會デ決議ニナリマシタ、結局民法商法ノ動キマシタ結果トシテ、變動ヲ生シマス時ハ特別ニ議事ヲ願フト云フ事モアリマセウガ、委員會ノ決議トシテハ、一應御決議ニナリマス事ヲ希望シマス

○委員長(大田信一君) 丸山君ニ御尋子致シマス、丸山君ノ御説ハ終尾マデ一度ト云フ事デアリマスカ

○(丸山嵯峨一郎君) 私共ノ考ハ民法ニ伴フテ變動スベキ條項ハ仕方ガアリマセヌガ、戸籍法ニハ自身特別ノ條文ガアリマスカラ、夫レヲ豫ジメ極メテ民法ノ異動シタトキハ、容易ク修正ガ出来ル様ニ致シタイ

○(片岡勇三郎君) 私ハ民法ノ方ガ直ッタ直ッタデヨシ、是レハ戸籍法ノ特別委員デスカラ特別委員會ダケノ權能デ、直スコトガアレバ發言シテ修正若クハ削除ヲ加ヘテ差支ナイ、又夫レガナカッタナラバ、原案ガ通過スルデ、ゴザイマスカラ、兎ニ角其法典ノ方ノ決了ヲ待ッテヤルト云フコトデナク、此事ダケハ本會デ何レニ決スルトモ差支ナイコト、私ハ信ジマスカラ、延バシテ置ク必要ハナイ、其確定議ノ事ハ唯今委員長カラ御話ガゴザイマシタカラ、夫レハ何レデモ宜シウゴザイマス

○委員長(大田信一君) 段々御説ガアリマスガ、矢張此章ヲ分チマシテヤル方ガ便方ト思ヒマス、御意見ガナケレバ委員長ハズンノ運シテ行キマス、別段第二章ニ御意見ハナイヤウニ認メマスカラ、御決議ヲ煩ス必要ハナカラウト思ヒマス……是ヨリ第三章ニ移リマス、即チ登記手續十五條ヨリ四十一條マデ……

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(大田信一君) 是モ別段御異存ガナイヤウニ思ヒマスカラ、此通り決シマス、夫レカラ第四章ハ御承知ノ如ク身分ニ關スル届出デゴザイマシテ、是ハ節ヲ分チマスレバ、即チ二十一節マデアルヤウデゴザイマスカラ、是ハ先ヅ第四章中ノ第一節ヨリ十節マデ……

○(白田省吾君) チョット御尋ネ申シマス、五十四條デアリマスガ、五十四條ノ末項ニハ「届出人ヲシテ之レニ署名捺印セシムル事ヲ要ス」トアリマスガ、届出人ガ自署スルコトガ出来ナカッタナラバ、矢張戸籍吏ニ於テ書キマシテ差支ナイト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ御質問ニ就テ御答ヲ致シマス、其邊ハ十分注意ヲ致シマシテ、多クノ届出人ノ内ニ自署ノ出来ナイ人ガアルデアラウト云フ事ハ事實デアリマスカラ、本案ノ第二百十八條ニ其融通法ヲ設ケテ置キマシタ

○(小磯進君) 修正意見ガアリマス、第六十五條ニ更ニ一項ヲ加ヘマス、本章ハ未ダ能ク出来マセヌカラ、意味ダケヲ……其第二項トシテ「戸籍吏ハ届出ノ届書中不備ヲ發見シタル時ハ更ニ期間ヲ定メテ之ヲ補ハシメルコトヲ得」ト云フ、マア趣向デ、文案ハ更ニ定メマスガ、斯ウ云フヤウニ修正シタイト云フノハ、昨日デシタカチョット質問ヲシテ置キマシタガ、出生其他死亡ノ届出ヲナスニハ、其期間ガ十日ナラ十日ト極ッテ居リマスガ、其届出ノ期間ニ切迫シタ九日目トカ十日目トカニ、此規定ニ從ッテ届出ヲスルヤウナコトガ、此新法實施ノ當座ニハ、最モ多イト思ヒマス、此規定ノ如ク凡テノ記載事項ヲ誤リナク記載シテ來ルト云フコトハ、随分ムツカシイコト、考ヘマス、尤モ今日相當ナ智識ヲ備ヘタ人ニハ、差支ナイノデアリマスガ、田舎ニ往キマシテ農家ナドニ付キマシテハ、隨分知ラズ識ラズノ間ニ此法ニ觸レテ、此二百十條カノ科料ヲ取ラレルヤウナコトガ、度々出来ハセヌカト云フ心配ガアリマス、ソレデ若シ期間内ニ届出デモ、其届書中ニ誤謬アルコトヲ戸籍吏ガ發見シタル場合ニハ、更ニ三日ナリ五日ナリノ猶豫期間ヲ與ヘテ補ッテ往クヤウニシタナラバ、二百十條二百十二條ノ科料ニ處セラレルヤウナコトガ免レルコトガ出来マスカラ、サウ云フ途ヲ講ジテ置キタイ、ソレデ若シ此意見ガ容レラレタナラバ、罰則ニ往ッテ二百十條ナドノ規定ヲ矢張「六十五條第二項ニ係ルモノハ此限ニアラス」ト云フ取除法ヲ設ケタイト云フ、斯ウ云フ私ノ考デゴザイマス

○政府委員(高木豊三君) 誠ニ御尤モナ御注意デゴザイマス、是ハ斯ウ云フ事ヲ加ヘマシテモ、私ノ方デ少シモ異議ヲ申サウナ譯ハアリマセヌガ、チヨット御注意マデニ申上ゲテ置キマスルコトハ、矢張此細則ト云フモノヲ設ケマスル積リデアリマスルシ、殊ニ此細則ノ外ニ最モ始メテノコトデゴザイマスカラ、親切ナル訓示ノ注意ヲ與ヘル積リデゴザイマス、又一面ニ於テハ區裁判所等ニ於テモ、此法律ガ實施ニナツタ、新法ガ實施ニナツタカラト云フテ、悉ク掘出シテ、嚴格ナル監督ト云フヤウナコトデ、一々罰金ヲ取リ——料料ニ處スルト云フヤウナコトモ、餘程注意ヲ加ヘテ、其邊ヲ不都合ノナイヤウニシテ、出來ルダケノ注意ハ取りマスル積リデアリマスルカラ、其邊ノ事ヲ一應申シテ置キマス

○(小磯進君) 唯今政府委員カラ特ニ御注意ガアリマシタガ、細則トカ何トカ云フモノヲ設ケテ、私ノ希望ノ如ク即チサウ云フ猶豫期間デモ與ヘルコトガ出來レバ、無論私ハ強テ主張スル譯デハアリマセヌ、又併ナガラチヨット考ヘテ見ルニ、即チ戸籍法ト云フ者ガ、法律ヲ以テ規定サレテ、即チ二百十條ト云フヤウナ制裁ガチヤント極デ仕舞ヘバ、此制裁ヲ細則其他ノモノデ、之ヲ補フト云フコトハ出來マイ考ヘマスルシ、且昨日政府委員ノ御答ニ依リマシテモ、ドウモサウ云フ猶豫期間ヲ授ケルト云フヤウナコトハ、此法ヲ厲行シテ往々點ニ於テ如何デアラウカト云フヤウナ御考モアツタヤウデゴザイマスカラ、其今ノ御考ガアルトハ知ラズ、私ハ意見ヲ提出シタノデアリマス、畢竟此希望ヲ達シサヘスレバ、ドウ云フ法案デモ差支ナイノデアリマス、強テハ主張致シマセヌ

○政府委員(高木豊三君) 少シ誤解ガゴザイマシタガ、私ノ是迄考ヘマシタノハ、此期間ヲ定メテ訂正セシムルコトヲ得ト云フノハ、此期間内ニ届出テ來タモノト云フヤウナ考デアリマシタ、例ヘバ十日間ニ届出デベキモノガ、即日届出デル、併ナガラ其屆書ニ不備ノ所ガアツタノヲ直チニ是ハイカヌト云フテ却下シテ仕舞フヤウナコトガナイヤウニ、モウ三日内ニ更ニ届出テ來イト云フヤウナコトデ、矢張法律ノ範圍内デアルト云フコトデアルト考ヘマシタガ、若シ此法律ノ期間ヲ戸籍吏ガ勝手ニ定メルト云フコトデアレバ、法律デナケレバイケマセヌケレドモ、法律デ延バスト云フコトニナリマスルト、法律ノ期間ト云フモノハ、少シモ効能ノナイモノニナリマス

○(小磯進君) 五日内三日内ト云フコトニ極メテハ、ドウデス、十日ナラ十日ノ期間ニ一旦持ッテ來タ九日目トカ期間ガ必迫シタ日ニ持ッテ來タガ、誤リガアル、サウ云フ時分ニ五里モ七里モアル所ヘ還シテ、更ニ訂正サセルト云フヤウナコトデハ困ルカラ、更ニ三日ナリ五日間ノ猶豫期間ヲ與ヘテ置キタイト云フノデアリマス、成程戸籍吏ガ勝手次第第二期間ヲ定メルト云フコトデアルト、十日モ二十日モ長引クト云フヤウナコトガアツタハイケマセヌカラ、三日ナリ五日ナリ相當ノ期間ヲ定メテ置クコトガ出來レバ宜イト思ヒマス、其邊ハドウデモ宜イ積デゴザイマス

○(小野隆助君) 今小磯君ノ御心配モアリマスケレドモ「届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲナシタル場合ト雖モ」ト餘程寛ニ出來テ居リマスカラ、ソナ御心配ニハ及ブマイト思ヒマス、戸籍吏ノ方デ屆書ノ文字ガ惡ルイ所ガアルトカ、不完全ナ所ガアレバ、改メテ來イト云フヤウナコトハ、必ズ注意ヲ與ヘルコト、信ジマスカラ、私ハ茲ニ但書ヲ加ヘルトカ、モウ一項添ヘルトカ云フヤウナコトハ、無用デアルト思ヒマス

○(白田省吾君) チヨット政府委員ニ御尋致シマスガ、此五十八條デアリマスガ、届出人ガ疾病其他ノ故障ニテ、自カラ出頭スルコトガ出來ナカッタナラバ、代理人ヲ差出スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデサウ云フ場合ニハ、何カ委任デモ持タセルモノデアリマセウカ、ドウ云フコトニ取扱ヒマスルカ、若モ代理人ガ矢張書面ヲ以テ届ケルコトガ出來ナカッタナラバ、此五十四條ヲ適用スルト云フヤウナ場合ニ至リハシナイカト思ヒマス、サウ云フ場合ニドウ云フコトヲナスモノデアリマスカ、其邊ヲチヨット御開キ申シマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今ノ御尋ノ御趣意ガ如何デゴザイマシタカ、五十八條ノ場合ハ書面ヲ以テ届出デル場合デハナクシテ、本人自身ニ出頭スベキ場合口頭ヲ以テ届出ラスベキ場合ニ、自分ガ出ラレナイトキニハ、代理人ヲ差出ス、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、若シ書面ノ届出デゴザイマスレバ、モウ別段ニ代理人ナドヲ寄越サズシテ、書面ダケデ宜イ積デアリマス、御疑ノ點ハ如何デシタカ

○(白田省吾君) スウナンデス、五十八條ノ方ハ口頭デ届出デルコトガ出來ナケレバ、代理人デモ差支ナイ、若シ差支ナイトスルナラバ、代理人ニ於テモ矢張付書スルコトガ出來ヌ者ガアツタナラバ、二百何條デアリマスルカノ通り取締ヲ爲スベキモノデアル、斯ウ云フ問デアリマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 極廣ク書イデアリマス

○(白田省吾君) 唯今六十五條ノ取除法ト云フノハ、私ハ大ニ不完全デアル、矢張是レハドウシテモ六十五條ハ、之ヲ厲行スルニ於テ、必要ナ條項デアル、ドウ云フ譯デアルカト云フト、人民ナドハ、十日以内ノ期限ヲ定メルト云フデモ、中ニハ横着ナ者モアリ、或ハ法律規則ヲ知ラナイデ居ル者モアル、其知ラナイデ居期限内ヲ過ギルハ正當デアル、知ッテ居ッテ居ケナイ者ガ多分デアル、ソレヲ押ヘテ置クニハ規則ヲ嚴重ニシテ置カナケレバナラヌ、如何トナレバ、今日デモ町村吏員ガ告發ヲシ、或ハ警察官ガ訴ヘルコトガ往々アル、夫故ニ戸籍ノ整理ガ着カヌ、戸籍ハ嚴格ニシテ置カナケレバ、取締ガ着カヌト思ヒマス

○(丸山嵯峨一郎君) 二節ノ方デ、第六十九條「嫡出子出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ本籍地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス」ト、斯ウアリマスル、昨日アタリハ此出生地ト云フモノヲ常住地トシタ御方モアリマシタ、サウナリマス、却テ戸籍法ノ便法ヲ取ッタ目的ニモ反スルヤウデアリマスカラ、ソ

レデ出生地ト云フコトハ、此儘ノ方ガ宜カラウト思ヒマス。出生地又ハ父母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス。ソレカラ二項ニモ三項ニモ同様デアリマス、若クハ寄留地ト云フ六字ヲ挿入致シタイ、ソレデ合セテ七十六條デアリマス、其七十六條ノ三行目ノ所ヘ「父ハ裁判確定ノ日ヨリ十日以内第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ」トアルノヲ、十日以内ト云フノヲ一箇月以内ト修正ヲ致シマス、ソレデ此裁判確定ノ日ト同シ場合デ、例ヘバ、離縁ノ場合トカ、縁組ニ無効ノ取消ヲ請求スルコト云フ場合ニハ、期間ヲ十日ト云フノハ甚ダ短イ、其間ニ或ハ事實ヲ知ルコトガ出来ナイ場合ガ出来テ來ルカラ、ソレデ一箇月ト云フノハ、司法上訴訟上デモ三十日間ニシテ置キマスカラ、矢張一箇月間ト云フ期間ニシテ方ガ宜カラウト思ヒマス、此事ニ付キマシテハ、マダ大分條文ガ澤山アリマスカラ、政府委員ノ御方ノ方ニ御相談申上ゲテ其修正ニ必要ナ場合ハ、總テ修正ノ御方ノ方カラシテ修正ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマス、尙ホ四節ノ八十四條此處ニ少シ附加ヘテ置キタイノハ、期間ノ事デアリマス。胎内デ認知セラレタル子ガ死体ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ヨリ認知ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス。トアル、之ニ附ケ加ヘテ「出生届出義務者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一箇月内ニ認知ノ申請ヲスルコトヲ要ス」ト、斯ウ修正ヲ致シタイ、是レモ矢張其事實ヲ知リタル日ヨリスルガ當然デアリマスガ、期間ヲ附シタイノハ、詰リ一箇月位ノ期間ガゴザイマセスト、届出等ノ罰金ガアルノデアリマスカラ、是非一箇月位ノ期間ハ與ヘテ置カナケレバナラスト思ヒマスカラ、斯ウ云フ修正ヲ致シマス。

○政府委員(倉富勇三郎君) チョット丸山サンニ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、十日ト云フ此七十六條ノ所ヲ改メルト云フ御意見デ、其他澤山アルト仰シヤッタ、總テノ届出期間全体ヲ改メルト云フ御意見デアリマセウカ、或ハ斯ウ云フ登記取消ノ申請ト云フ類バカリデアリマセウカ。

○(丸山嵯峨一郎君) 左様デゴザイマス、登記ノ取消ノ方ニ重モニアリマスノデ、例ヘバ、九十九條ノ類ノ裁判確定シタ場合、或ハ百六條ノ婚姻ノ無効又ハ誹謗ノ裁判ノ確定シタイト云フヤウナ場合ニハ、取消ノ申請ヲ爲ス期間ニ就イテ、十日ト云フノデ、一箇月ニ改メル趣旨ニナリマス。

○政府委員(倉富勇三郎君) 了解致シマシタ、唯今丸山サンカラ修正カ出マシタ、第一ノ六十九條ニ「若クハ寄留地」ノ文字ヲ入レテ、ソレカラ二項三項ニモ「若クハ寄留地」ヲ入レタイト云フ御意見デアリマスガ、六十九條ニ就キマシテハ、昨日大津君ヨリ公然ノ修正意見デアリマセヌガ、私マデ御協議ノ次第モアリマシテ、尙ホ私モ考ヘテ居リマシタ所デ、唯今ノ修正御意見見ガアリマシタ、成程出生地又ハ父母ノ本籍地ニ往カナケレバナラスト云フコトデハ、考ヘテ見マスト、實際或ハ不便ノ場合ガアリサウデゴザイマスカラ、本籍地ノ下ニ「若クハ寄留地」ト云フコトヲ加ヘマスノハ、實際上餘程便宜ヲ得マス修正ト思ヒマスカラ、私ノ方デ御同意ヲ致シマス、ソレカラモウ

一ツノ七十三條其他ニ登記ノ取消ノ申請、又ハ登記ノ變更ノ申請ノ場合ノ期間ヲ凡テ一ヶ月ニ改メヤウト云フ、此御修正ニ對シテモ御同意ヲ致シマス。○(赤土亮君) 私ハ此六十九條ハ同意ヲ致シマスガ、七十三條等ノ裁判確定シテ其後十日以内ト云フノハ、私ハ短日デアリマセスト考ヘマス、是デ十分足リル、則チ六十八條ノ如キ、子ノ出生シタ時分ナドニナリマス、先ヅ田舎ノ如キデハ、七日間位ト云フモノハゴテ、デ暮シテ仕舞フ、混雜中ニ終ッテ仕舞フ、所デ三日シカゴザイマセヌノニ、矢張十日間ト云フ期日デアリマス、而シテ此七十三條ニナリマス、裁判ガ確定シテ仕舞フテカラ、又十日間モアル、之ニ政府委員モ御同意ガアルト云フノハ、私ハ可笑シナ事ト云フ考ヲ生ジマス。

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今修正ノ御意見ニ付イテ同意ヲ致シマシタ所ガ、ソレニ付イテ反對ノ御意見モ出マシテゴザイマスカラ、私ガ同意致シマシタ次第ヲチョット申上ゲテ置キタイト存ジマス、全體此法案ニ於キマシテハ、届出通則ト云フコトガゴザイマシテ、四十二條、是ハ届出人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スヲ要スト云フコトヲ本則ニシテ、ソレカラ届出人ノ本籍地外ニ在ル時ハ、現在自分ノ居ル處ノ戸籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ得ト云フ便宜ヲ與ヘテアル、其他第二節以下各節ニ必要ニ依ッテ届出地ヲ指定シテゴザイマス、現ニ只今修正ノ意見ノ出マシタ出生ノ届出地ニシテモ、出生地、父母ノ本籍地、或ハ寄留地ト十分ノ便宜ヲ與ヘルコトニナリマス、其他三節以下モ大概必ズ本籍トカ何トカ云フ一定ノモノト云フモノハ、少ナイコトニナッテ居ル、然ルニ此登記ノ取消シ或ハ變更ノ申請デアル場合ニハ、サウ云フ便宜ガナカラウ、ナカラウヤウニ思ヒマス、考ヘテ見マスト前ニ長崎デ登記ヲシテ置ク者ガ、何カ其登記ノ取消ヲ爲スベキ必要ガ生ジタトキニ、現在本人ハ長崎ヨリ餘程隔ッタ遠方ニ居ル、其時ニ必ズ十日以内ニ此申請ヲセヨト云フコトハ、大概出來ル積リデアリマスケレドモ、少シ期間ガ短クハアルマイカト云フ懸念モ抱キマス、サウ云フ次第他ノ場合ハ、ドコマデモ往ケル便宜ガアリマスケレドモ、登記ノ取消若ハ變更ノ申請ノ場合ハ、其届出ヲ爲スベキ場處ガ一定シテ居ル結果トシテ、斯ウ云フ場合ニ限ッテ、十分ノ期間ヲ與ヘテ置イタ方が、實際ニ適當スルデアラウ、斯ウ云フ趣意ヲ以テ、只今ノ御意見ニ贊成ヲ致シマシタ。

○(和波久十郎君) 私モ百十七條ニ修正ガアリマスカラ、一言申上ゲマス、ソレカラ六十九條ニ付イテ御尋ヲシタイト思ヒマス、私ノ考ハ百十七條後見人ノ任務ガ終了シタルトキハ、後見人ハ十日以内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ルコトヲ要スト云フコトガアリマス、是ハ先刻質問ノ時カラ私ハ疑惑ヲ抱イテ居ルコトデ、民法ノ九百三十七條ニ、後見人ハ其任務ガ終了シタルトキハ、後見人又ハ相續人ハ二ヶ月内ニ其管理ノ計算ヲナスコトヲ要スト云フコトガゴザイマス、ドウモ後見人ノ解ケタ際ト云フモノハ、知ラズ識ラズ解ケルモノデアラウト思フ、裁判確定トカ或ハ何トカ云フトキハ知ラズ識ラズニ來

ルモノデゴザイマスシ、殊ニ九百三十七條ニ二ヶ月云々ト云フコトガゴザイ
マスカラ、十日間ト云フコトハ、是ハ短カ過ギマスカラ、此十日間ヲ二ヶ月
内ト致シタイ、ソレカラ六十九條ノ修正説が出マシテ政府委員モ御同意ニナ
リマシタガ、六十九條ノ出生地ト云フモノニハ、寄留地ト云フモノハ這入ッ
テ居ルモノデゴザイマセウト思ヒマス、此出生地又ハ父ノ本籍地ト云フ以上
ハ、寄留地ノ如キハ出生地ト認メテ差支ナイカト云フ考モアリマスガ、ソレ
ハドンナモノデアリマスガ、ソレヲチヨット御尋致シマス、ソレカラ七十三
條ノ裁判決定ノ日ヨリ十日内ニト云フコトハ、十日ト云フノハ短イ、三十日
トスルト云フ丸山君ノ説ニ同意サレタデゴザイマスガ、之ヲ若シ十日間デ短
イト云フナラバ、彼ノ七十九條ノ嫡出子否認ノ場合、是モ裁判決定ノ日ヨリ
十日内トアリマスガ、此方ハ原案ノ儘ニシテ置イテ、七十三條ヲ三十日ト云
フコトニ御同意ナサルノハ、ドウ云フ譯デアリマセウカ、其邊ノ理由ヲ承リ
タイ

○委員長(大田信一君) 和波サニ申上ゲマスガ、七十九條ニ十日以内トア
ル云々ト云フ御尋ハ、ソレハ登記取消、又ハ變更ノ方ハイヅレモ含ンデ居ル積
リノ御修正デゴザイマス

○(和波久十郎君) 六十九條ノ方ハ分リマシタ、七十三條ノ裁判決定ノ日ヨ
リト云フコトガゴザイマス、之ヲ十日内ト云フノヲ三十日トスルコトノ丸山
君ノ説ヲ同意セラレタ、所デ七十九條ニモ矢張其嫡出子否認ノコトガアリ
マシテ、是ハ裁判決定ノ日ヨリ十日内ト云フコトニナッテ居ル、七十九條ノ
方ヲ十日内ト云フ原案ニシテ置イテ、サウシテ此七十三條ノ方ヲ三十日ニス
ルト云フコトハ可笑シイ、是ハ同ジ場合ト思ヒマス

○(丸山嵯峨一郎君) 同ジ場合デゴザイマスカラ、矢張ソレモ含ンデ居ル積
リデス

○委員長(大田信一君) 是モ共ニ修正ノ意見ニナッテ居リマス

○(和波久十郎君) ソレデハ七十九條ノ方ハ宜シイ、六十九條ノコトヲチヨ
ット承リタイ

○政府委員(倉富三郎君) 唯今ノ六十九條ノ分ハ御質問デゴザイマシタラ
ウカ、彼ノ後見人ノ任務終了ノ事ハ一ノ御意見ト承リマシタガ……

○(和波久十郎君) 意見ト併セテ質問

○政府委員(倉富三郎君) ソレデハ御答ヘヲ致シマス、此出生地又ハ父母
ノ本籍地若クハ父母ノ寄留地ト三ツ書現ハシマシテモ、ソレガ出生地デモア
リ、又本籍地デモアルト云フコトモ、勿論事實ニ於テアリ得ルコトデゴザイ
マス、又出生地ガ即チ寄留地デアルト云フコトモ、實際出來マス、併シナガラ、
出生地ガ必ズ何時デモ本籍地デアルカ、或ハ寄留地デアルト云フ場合ニハ參
リマセヌ、例ヘバ、極近ヒ例ヲ舉ゲテ御話申シマスレバ麴町區ニ寄留ヲシ
テ居ル者ガ、本郷ノ病院ニ入ッテ病院内デ出生シタ、サウスルト、麴町區ト本
郷區トハ區ガ違ヒマス、從ッテ戸籍ノ管轄モ違ヒマスカラシテ、其時ハ出

生地ト寄留地ト云フモノガ違フ場合ガ出テ來マス、サウ云フ時ノコトヲ考ヘ
テ見マス、出生地ニ届ケ出ルカ、左モナケレバ、必ズ本籍地ニ届ケ出ルト
云フコトデハ、少シ實際ニ便宜ヲ缺キハシナイカト云フ懸念ガアリマスタメ
ニ、ソレデ三條ノ寄留地ト云フコトヲ加ヘルト云フコトハ、餘程結構デアラ
ウト存ジマスノデアリマス

○(和波久十郎君) 唯今ノコトハ能ク分リマシタデ、私ハ矢張丸山君ノ説ニ
同意ヲシマシテ、其上ニ彼ノ百十七條デス、此後見人ノ任務終了ヲ十日内ト
云フコトヲ六十日即チ二ヶ月ト云フコトニ修正シタイ

○委員長(大田信一君) 採決ヲ致シマス、然ルニ各御提出ノ御説中ニ成立ッ
テ居ルノハ、即チ丸山君ノ六十九條ノ修正説、ソレカラ七十三條八十四條ノ
修正説、此修正説ニハ御賛成ガアリマシテ、即チ問題トナッテ居リマス、其
他ハ未ダ……

○(赤土亮君) 私ハ和波君ノ百十七條ノ修正説ニ同意デアリマス

○委員長(大田信一君) 然ラバ和波君ノ百十七條ノ十日内ヲ二箇月内ト改メ
ルト云フ説ハ問題トナリマシタ

○政府委員(高木豐三君) 唯今百十七條ノ期間ヲ二箇月ニ延バスト云フ修正
説ガ出マシテ、之ニ賛成ガゴザイマシタガ、是ハ御注意ヲ願イタイノハ、民
法ノ九百三十七條ニ規定シテアリマスルコトハドウ云フコトデアルカト申シ
マスルト云フト、後見人ノ任務ガ終了ノ後ニ何年間其ノ任務ニ當ッテ居ッテモ、
其間ノ計算ト云フモノヲシテ出セ、斯ウ云フ期間ナノデアリマシテ、是ハ隨分
手間ノ要ル仕事デ、是ガ故ニ當ニ二箇月ト極メタノミナラズ、其入組ンダ計
算ニ付キマシテハ、親屬會ニ於テ之ヲ伸長スルコトモ出來ルコトニナッテ居
リマス、然ルニ戸籍法ノ方デ申シマスルト、後見人ノ任務終了ト云フ事ヲ早ク
届ケサスト云フコトハ、御承知ノ如ク、其後見人ト申シマスル者ハ、總テノ
法律行為幼者ニ代ッテスルモノデアリマシテ、若シ當時任務ガ終了シテ居ル
後ニ矢張り其幼者ノ名義ヲ以テ賣買ヲスルトカ、其他總テノ契約ヲスルトカ
云フコトニナリマスル以上ハ、法律上非常ノ影響ヲ及ボシマスルスカラナリマ
スレバ、斯ノ如キモノハ終了ノ即日ニモ届ケ出デヲサシタイ位デアリマス、ケ
レドモ、外ノ權衡モアリマスルデ、十日間ニナッテ居リマスガ、此方ガ二箇
月ニナッテハ、大ニ世間ノ取引上影響ヲ及ボシマスカラ、是ハ十分諸君ニモ
御熟考ヲ願ヒタイ

○(和波久十郎君) 私モ九百三十七條ノ二箇月ト云フコトハ、是ハ計算期ヲ
知テ居リマスガ、又賣買云々ト云フコトモ考ヘテ居リマスガ、茲ニ子ガ生レ
タトカ、或ハ死ンダトカ送籍シタイトカ入籍シタトカ云フコトナラバ格別、
未成年ガ成年ニ至ル場合ニ至リマスルト、知ラズ識ラズ、十日ヤ或ハ十五日
ト云フモノハ、ツイ經過ヲスルト云フ上カラシテ、ドウモ餘リ此場合ニ至ッ
テハ、階デアラウ、是等ノ事ハ現行ノ戸籍法ニ至ッテ届ケ出デルト云フ事柄
モアリマスカラシテ、二箇月ト致シタイ、又今此期間ヲ長クスルト、成年後

ニ未成年ト見テ土地ノ賣買ヲスル、若クハ云々ト云フ説モアリマスルガ、是等ハアルベキ理屈ハアルマイト考ヘマス、是ハドウシテモ、十日ト云フコトニナルト、大變ニ犯罪者ヲ餘計ニスルコト、考ヘマスルデ、是ハ飽クマデ二箇月ト致シタイ

○委員長(大田信一君) 採決ヲ致シマス、和波君ノ第十七條ノ十日間ヲ二箇月以内ト改メルト云フ説ニハ、即チ赤土君ノ御賛成ガゴザイマス、此説ヨリ先キニ起立ヲ請ヒマス、和波君ノ説ニ御同意ノ諸君ハ起手ヲ乞ヒマス

起手者 少數

○委員長(大田信一君) 少數ヲ消滅ヲ致シマス、ソレカラ、此丸山君ノ御説ニ就テ起立ヲ請ヒマス、此丸山君ノ御説ハ、即チ六十九條七十三條八十四條ノ此三個條ニ涉ッテ居リマス、是ハ同一ニ採決シマシテ差支アリマスマイカ

○(赤土亮君) イヤ、アリマス

○委員長(大田信一君) アナタノ御賛成ハ六十九條ノミデゴザイマシタカ

○(赤土亮君) サウデゴザイマス

○委員長(大田信一君) 然ラバ六十九條ダケヲ各別ニ採リマス

○(片岡勇三郎君) 矢張り丸山君ノ御説ヲ採ッテ、ソレガ多數ナラバ、宜シウゴザイマセウ、又御異見ガ別ニアツタラバ、御異見ノアルダケ御採リニナツタラ宜イ

○委員長(大田信一君) 其他ニハ御賛成ノ諸君ハナイ、然ラバ丸山君ノ即チ六十九條ノ修正説ニ就イテ採決致シマス、此丸山君ノ六十九條ノ「本籍地」ノ下ヘ、若クハ「寄留地」ト云フコトヲ挿入スルト云フ丸山君ノ説ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 多數

○委員長(大田信一君) 多數

○(安藤龜太郎君) 今ノ説ガ成立チマシタ所デハ、外ニ直ス所ガ出來ル、二項ニ至テ「出生ノ居出ハ出生地又ハ母ノ本籍地ノ戸籍吏」ニ云々トアリマスガ、アレモ寄留地トシテ宜イノデセウカ

○(丸山嵯峨一郎君) 左様デス、ソレカラ此七十三條ノ取消ノ申請ヲナス場合ニ就テ此期間、是同種類ノ場合ハ總テ斯ウ云フ風ニシタイト云フノデアリマス

○委員長(大田信一君) 然ラバ七十三條ヲ採決致シマス、七十三條ノ此ズツト末項即チ三行目ノ「其父ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ」トアルノヲ「一箇月内ニ」ト改ム、是ニ就テ採決シマス、此「十日内ニ」トアルノヲ、「一箇月内ニ」ト云フ修正ノ丸山君ノ説ニ御賛成ノ方ハ舉手ヲ乞ヒマス

舉手者 多數

○委員長(大田信一君) 多數デゴザイマス、ソレカラ八十四條ノ決ヲ採リマスガ、一應丸山君ニ諸君ノ御參考マデニ確メマスガ、此八十四條ノ御修正ハ第一行ノ「出生届出義務者」ノ下ヘ「ハ」ヲ入レル「其事實ヲ知リタル日ヨリ

一箇月内ニ」ト云フコトヲ「ヨリ」ヲ削ッテ、此間ニ挿入レヤウト云フノデスカ

○(丸山嵯峨一郎君) 左様デス

○(小野隆助君) 此八十四條ノ修正説ニハ、政府委員ノ同意ガナッテ居ルト云フコトデスガ、私共ハ其修正説ニハチト賛成シ兼ネマスガ、政府ノ御意向ヲ一ツ聞イテ置キタイ

○政府委員(倉富勇三郎君) 此八十四條ニ就テ修正意見ガ出マシテ、ソレニ同意ヲ致シマシタ、其理由ハ、此胎内ニテ認知スルト云フコトハ、メツタニナイカモ知レマセヌガ、民法ノ規定ニ依リマス、斯ウ云フ場合ガアリマス、子ガ出生シナイ前ニ、之ヲ認知ヲ致シマス場合、此認知ノ居出ハ、認知致シマシタ者カラシテ居出スルコトニナリマス所ガ、自分ガ胎内ニ居ルノヲ認知シテ、其人ガ旅行シテ、其不在中ニ子ガ生マレタケレトモ死体デアッタト云フトキハ、此法案ニ依テ先キニ認知ノ登記ヲシテ居リマスカラ、ソレヲ申請スルト云フ義務ヲ負ハセル處ガ旅行中ニ分娩シ、即日ニスルト云フコトハ無理デアルカラ、一箇月猶豫ヲ與ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス、之ヲ一箇月延バスト云フコトハ、先ニ登記シタ所ニ常ニ住居シテ居ルトモ限ラヌ、先ノ登記ハ遠方ノ所デ死体ニ分婉シタトキハ、他ノ場所ニ變ッテ居ルト云フコトガアリマスカラ、是ハ修正ノ御意見ノヤウニナッタ方カ宜カラウト思ヒマスカラ、修正説ニ賛成致シマス

起立者 同數

○委員長(大田信一君) 採決ヲ致シマス、第四十八條ノ修正、即チ丸山君ノ修正説ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

○委員長(大田信一君) 同數デゴザイマス、此場合ハ委員長ハ可否ヲ決セナケレバナラヌヤウニナリマシタガ、段々政府委員カラ實際ヲ聞キ取リマス、云フト、矢張是モ前條文ノ修正ト共ニ修正ヲスル必要ガアルト云フコトデ、旁々委員長ハ丸山君ノ修正説ニシタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、可トスル方ニ同意ヲシテ、之ヲ可決致スコトニ致シマス

○政府委員(高木豐三君) サウナリマス、此後トニモ唯今見マスルト大分變更取消ノ事ガ二三箇條モゴザイマス、若シ一條ガ可決ニナリマシテ一條ガ否決ニナルヤウナコトデハ不都合デアリマスカラ、變更ト取消ニ付テハ全部サウ願ヒタイ

○委員長(大田信一君) 御注意デゴザイマスガ、丸山君カラ屢々御話ノ如ク之ニ適當スル條項ニ關係スルモノ、文面ハ、改メルト云フ意味ヲ包含シテ居リマス——是ヨリ第十節百十九條ヨリ二十一節百六十九條マデ

(此邊デ止メタラドウデス)ト呼フ者アリ

「末尾マデヤルベシ」ト呼フ者アリ

○委員長(大田信一君) ヤッテ仕舞ヒマセウ、ソレデハ第十節ヨリ末尾マデ御審議ヲ煩ハシタイ

○(小野隆助君) 私ハ二百十二條ノ五十圓以下ノ過料ニ處セラルト云フノヲ參拾圓以下、ツレカラ二百十三條ノ貳拾圓以下ト云フノヲ拾圓以下ト云フコトハ、固ヨリ戸籍吏官吏トシテ此過料金ヲ科セラルコトデアリマスガ、然シ其戸籍吏ハ矢張町村長ガ兼ルト云フコトニナツテ來タ所デ、其町村長ニ五拾圓以下ノ過料ニ處スルト云フコトハ、餘リ苛酷デアアル、段々町村制ヲ調ベテ見マスルト、懲戒處分ニ於テ貳拾圓以下ノ過料ハ拾圓以下ト云フコトニナツテ居ルヤウデス、ツレデ之ヲ參拾圓以下ト減シ貳拾圓ヲ拾圓ニ減ズルト云フ修正說ニハ賛成、ツレカラ又二百十條ニ戻リマシテ、貳拾圓以下ト云フノヲ拾圓以下ト修正シ、ツレカラ二百十一條ノ四拾圓以下ト云フノヲ貳拾圓以下ト修正致シタイ

○(安藤龜太郎君) 私モ此過料ノコトニ付キマシテハ二百十二條ト十三條ノ過料金ハ御同意デアルガ、二百十條ノ十圓二百十一條ノ貳拾圓ハドウカト思ヒマス、參拾圓トシタラドウデス、理由ハ別ニ述ベマセヌ、ツレカラ二百十二條ノ第二項(身分登記又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ)トアリマシガ、是ハドウモ本人ノ二百十條ノ居書ノ申請ヲ怠リタル者ハ、貳拾圓以下トアリマシテ、一方ノ戸籍吏ノ方ハ五十圓以下ト云フノデハ、兎ニ角迷惑ナ職務デ、之ヲ科料ニ處スルノハ隨分過酷ト思ヒマスカラ、前ノヤウニ、「正當ノ理由ナクシテ戸籍ノ記載ヲ爲サ、ルトキハ」ト云フヤウニ致シタイ、チヨット記載ヲ怠ツタカラト云フテ、直グ參拾圓ノ科料ト云フノハ、ドウモ過當ノコト、思フ

○(白田省吾君) 私ハ二百十條二百十一條ハ原案ヲ賛成シマスガ、二百十二條ト二百十三條ハ削除シタイ考デス、何故ト云ヘバ、名譽職町村長或ハ市長等ニ戸籍ノコトヲ委託セシメテ、聊カノ事柄ガ有ルト云ツテ科料ニ處シテハ、甚ダ其人ニ對シテハ迷惑ヲ來スコト、思フ、又戸籍吏トナルヤウナ町村長ハ決シテ斯様ナコトハ無イト思フ、無闇ニ正當ノ理由ナクシテ拒ンダリ、受取ラナカッタリスルヤウナコトハ無イト思フ、斯ウ云フヤウナ過酷ナ處分ヲ戸籍吏ニスルノハ、穩當ヲ缺クト思ヒマスカラ、削除致シタイ

○(小磯進君) 私モ白田君ニ賛成、過刻段々質問致シタ所、戸籍吏トシテ戸籍ノ事務ヲ取扱フニモ、矢張町村長郡長縣知事ガ監督スルニ就イテハ——事務ノ全体ヲ取扱フニ就イテハ、司法ノ關係ニ屬スルケレドモ、役場ニアツテ平生職務ヲ取扱フ勸怠其他ノ仕事ノ行政ヲスルト云フヤウナ點ニ就イテハ、矢張行政官廳ノ監督——行政官廳ノ監督ヲ受ケシメルト云フコトデアアル、シテ見レバ、町村長ヲ懲戒スル法ハ、既ニ規定シアルカラ、懲戒處分法ニ依ツテ、斯フ云フ事項ノアツタ場合ニハ、解職マデスル事ガ、出來ルノデ、罰金ヲ課スルコトモ出來、譴責モ出來ルノデアアルカラ、戸籍法ニ定メテ置カナクテモ宜カラウト云フ所カラ、賛成ヲスルノデアリマス

○(白田省吾君) 若シ此兩條共ニ議案トナリマシテ施行ヲ爲シタ場合ニハ、ドウ云フモノカト云ヒマスレバ、餘程町村長ノ迷惑ヲ來シマス、東京トカ或

ハ斯ウ云フ處ニハサウ云フ事ハ無カラウト思ヒマスガ、田舎ノ町村ノ所デハ、俗ニ三百トカ云フ訴訟ノ物好キノ者ガアル、ツレ等ガ或ハ町村吏員ガ拒ムトカ、或ハイカナイトカ云フヲ、何モ仔細ノ無イ者マデモカコツケテ訴訟ノヤウナコトヲナシ、或ハ行政事務ノ執行ヲ妨ゲルト云フヤウナコトガ起ル、殊ニ戸籍吏ニ對シテノコトハ、町村制ニモ明ニ規定シテアルカラ、此場合ハ私ハ必要ガナイト信ズルノデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 百四十五條ニ「家督相續人ノ指定ガ其効力ヲ失ヒタルトキハ指定ヲ爲シタル者ハ其効力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ遲滯ナク登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス」トアリマスガ、「指定ヲ爲シタル者ハ」ノ下ハ、「其事實ヲ知リタル日ヨリ一箇月内ニ」ト云フコトヲ加ヘタイ、前ニ政府委員ノ御同意ヲ得タカラ、此場合モ家督相續人ノ効力ヲ失ツ場合ハ、其指定ヲ爲シタル者カラシテ、届出ヲ爲スニ就イテハ、事實矢張知ツタル日ヨリ一箇月内ト云フ條件ヲ附ケナイト、到底登記ノ取消ノ申請ヲスルコトノ出來ナイ場合ガ出來ル、故ニ事實ヲ知ツタル日ヨリ計算シテ、一箇月内トスル方ガ宜カラウト思フ修正ノ意見デアリマス

○(政府委員(高木豐三君)) 御尤デアリマスガ、サウナレバ、「遲滯ナク」ト云フ字ダケハ、御削リ下サイマセヌト續キマセヌ

○(丸山嵯峨一郎君) 趣意ハ前ノ通りデ、遲滯ナクハ削リマス

○(三輪信夫君) 賛成

○(加藤六藏君) 私モ丸山君ニ賛成

○(委員長(大田信一君)) 然ラバ採決致シマス

○(加藤六藏君) 私ハ遲刻致シマシテ諸君ノ御説ヲ承リマセヌデシタガ、小野君ハ此罰金ヲ下ゲルト云フ御説ガ出サレマシテ、央バヨリ承リマシタガ、就キマシテハ、小野君ニ御問ヒ致シタイノハ、此ノ罰金ノ全体ニ就イテ幾分か下ゲルト云フ御精神デナサルノデアラウカ、或ル箇條ノミヲ下ゲルト云フデアラウカ、如何デスカ

○(小野隆助君) 總テ下ゲルト云フノデス、二百十條二百十一條共ニ下ゲル積リデス

○(加藤六藏君) ズット下ゲマスと云フト、澤山罰金ニ就イテハ箇條ガアリマスガ、皆ツレニ準シテ御下ケニナルノデスカ、如何デスカ

○(小野隆助君) ツレハ往ケナイノデス

○(加藤六藏君) 此ノ箇條ニ就テノミデスカ

○(小野隆助君) 左様デス、此ノ四ヶ條ニ就テノ積リデス

○(加藤六藏君) 二百十條ヨリ十三條マデマスカ

○(小野隆助君) サウデス

○(加藤六藏君) 私ハドウモ此ノ罰金ハ甚ダ過當ト考ヘマス、何ントナレバ、申スマデモナク、村長ハ名譽職ニシテ、已ムヲ得ズ名譽家デアルトカ、財産家デアルトカ云フモノデナシテ居ル者ガ澤山アル、ツレデナクトモ所謂義

務トシテヤッテ居ル者デアッテ、決シテ商賣的ニ給料ノタメニヤッテ居ル者ハ殆ンド無イト謂フテモ宜イカト考ヘマス、例ヘバ有給ノ村長トシテモ、有給ニシテモ其人ノ値打ニハ添ハヌト云フノガ事實デアリマス、然ルニ斯様ナ普通ノ裁判官トカ何トカ學業的ニヤッテ居ル者ノヤウナ適當ナ罰金ト云フモノヲ科スルヤウニナツテハ、大層不都合ナルコト、考ヘマス、事實亦村長ガ迷惑ノ次第デアリマスカラ、之ヲ全ク廢スルト云フテモ或ハ怠ルト云フヤウナコトガ續々アツテハ困リマスカラ、成ルベク少キ過料ニ處セラレタイト思ヒマス、デ、尙ホ私ヨリモ修正説ヲ出シタイト思ヒマスガ、餘リ多岐ニ涉リマシテハ成立セヌト不都合デアリマスカラ、先ヅ小野君ノ説ニ賛成シテ置キマス

○(赤土亮君) 私ハ丸山君ノ説ニ賛成デ、二百十條ハ拾圓トスル説ニ賛成シ、二百十一條ハ參拾圓トスル説ニ賛成シ、二百十二條ハ參拾圓ト云フ説ニ賛成シ、二百十三條ハ拾圓トスル説ニ賛成シマス、獨リ二百十一條ノミニ重キヲ置ク理由ハ、其期間内ニ居出ヲ催告シテモ居ヲ出サヌ、二度催告シテモマダ出サヌト云フモノデアリマスカラ、是ハ少シ高クシテ於テモ宜イト云フ考ヒデアリマス

○(丸山嵯峨一郎君) 犯則ノコトニ就キマシテハ、多分刑法ナドニ就イテ斯様ニ御定メニナツタト思ヒマスガ、是ハ少シ酷ニ過ギルト思ヒマス、特ニ二百十條ノ場合ナドハ、地位カラ申シマスルト、極貧窮ノ者ニサウ云フ意リガアルノデ、其者等ハ貳拾圓ノ過料ニ處セラレ、ト云フコトニ至リテハ、中々少シ身代ノ宜イモノガ百圓貳百圓ノ罰金ヨリモ非常ナ苦痛ヲ感ズルノデアリマス、是非此ノ過料ト云フモノヲ減減致シタイノデ、私ノ考ヘデハ、五圓位ヒマデ十分ダラウト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマスガ、二百十一條ノ過料ニ就キマシテモ、是レニ關聯シテ居リマスカラ、此ノ四拾圓ト云フノデ改メテ拾圓ト云フコトニ致シタイ、其他ノ二百十二條ト二百十三條ハ之ハ職務上カラシテ斯様ナ規定ハ必要ダラウト思ヒマスカラ、是ハ全廢スルト云フ譯ニ參リマセヌカラシテ、五拾圓以下ヲ參拾圓以下トシ、貳拾圓以下ヲ拾圓トスル小野サンノ御説ニ賛成致シマス

○委員長(大田信一君) 小野サンノハ二百十二條ノ五拾圓以下ヲ參拾圓以下トシ、二百十三條ノ貳拾圓以下ヲ拾圓トシ、遡テ二百十條ハ貳拾圓ト云フモノヲ拾圓トシ、二百十一條ハ四拾圓ト云フノヲ貳拾圓トスルト云フノデスガ、總テ御同意デスカ

○(丸山嵯峨一郎君) 少シ違ヒガアルヤウデス

○委員長(大田信一君) 二箇條ダケハ御同意デスカ

○(丸山嵯峨一郎君) 左様デス

○政府委員(高木豐三君) 色々御修正デアリマスガ、政府ニ於テモ前ニ申シマス通り、誠ニ氣ノ毒ニ考ヘテ居リマスガ、サウ云フ色々ノ御説モ出テ居リマスカラ、此説ナレバ御同意ヲシテモ宜カラウト考ヘマスノハ、二百十

條ノヲ拾圓トシ、二百十一條ヲ貳拾圓ニ下ゲ、二百十二條ヲ參拾圓ニ下ゲルト、二百十三條ヲ拾圓ニ下ゲルト云フ是ハ小野サンノ御説ト同シヤウニナルカモ知レマセヌガ、其御説ナレバ御同意ヲ致シマス

○(三輪潤太郎君) 私ハ政府委員カラモ小野君ノ説ニ同意スルト云フ説デアリマシタガ、私ハ矢張り丸山君ノ提出セラレマシタ二百十條ヲ五圓以下トシ、二百十一條ヲ拾圓以下ト云フ修正説ニ賛成ヲスル者デアリマス

○委員長(大田信一君) 段々御議論モ盡キタヤウニ考ヘマスカラ、是ヨリ採決致シマス、採決ノ順序ニ至リマシテハ、議案ニ遠ザカッタモノヨリ採決ヲスルノガ順序ノヤウニ思ヒマスカラ、即チ御説ハ數説御提出ニナツテ居リマスガ、其中一番議案ニ遠ザカル、白田君ノ二百十二條ノ削除説ニハ、小磯君ノ御賛成ガアツタヤウデスカラ、此説ヨリ即チ白田君ノ二百十二條及十三條ヲ削除スルト云フ御説ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ乞ヒマス

舉手者 少數

○委員長(大田信一君) 少數ヲ消滅致シマシタ、ソレカラ次ギハ丸山君ノデ、二百十二條十三條ト小野君ノ説ニ賛成ヲセラレテ、即チ十條ノ過料貳拾圓ヲ五圓ニシヤウ、ソレカラ十一條ノ四拾圓ヲ拾圓ニシヤウ、斯ウ云フ御説デアリマス、此御説ニハ三輪君ノ賛成ガアツタヤウニ考ヘマス、此御説ニ就テ……

○(加藤六藏君) 此十條ト十一條ハ丸山君モ小野君モ同説デ……

○委員長(大田信一君) 是ダケ違ツテ居リマス

○(加藤六藏君) サウスルト十條ト十一條ニ就テ御採リ下スツテ……

○(安藤龜太郎君) 十二條ト十三條ハ、小野君ト同シデスカラ……

○委員長(大田信一君) 其御報告ヲ致ス積リデアリマス、是ヨリ丸山君ノ御説ニ二百十條ノ貳拾圓トアルヲ五圓ト修正シ、二百十一條ノ四拾圓トアルヲ拾圓ト修正スルト云フ御説ニ就テ採決致シマス、此説ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ請ヒマス

舉手者 少數

○委員長(大田信一君) 少數——消滅致シマス、然ラバ小野君ノ御説即チ二百十二條ノ「五拾圓以下」トアルヲ「參拾圓以下」ト改メ、二百十三條「貳拾圓以下」トアルヲ「拾圓以下」ト改メ、二百十一條ノ「四拾圓」トアルヲ「貳拾圓」トスル此御説ハ、採決ノ順序ニ依リマスレバ、安藤サンノ御説ハ原案ニ近ヅク方ニナルデスカ

○(赤土亮君) サウデスカレドモ、各條御採リニナルト、此一條ノタメニ餘リ手ヲ舉ゲルコトガ出來マセヌ

○委員長(大田信一君) 然ラバ二百十一條ダケヲ先キニ採決致シマス、二百十一條「四十圓」トアルヲ「三十圓」ニ改メルト云フ安藤君ノ御説ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ請ヒマス

舉手者 少數

○委員長(大田信一君) 少數ニ就キ消滅致シマスモウ、小野君ノ說ニ就テ別段詳細ニ述ヘルノ必要モアリマスマイト思ヒマス、小野君ノ御說ニ贊成ノ方ハ舉手ヲ請ヒマス

舉手者 多數

○委員長(大田信一君) 多數ヲ以テ小野ノ君ノ說ニ可決致シマシタ、其他原案ニ就テ採決致シマス

○(赤土亮君) 百四十五條ハドウデス、マダ採決ガ殘ッテ居リマス

○委員長(大田信一君) 然レバ採決致シマス、百四十五條ノ修正說ニ就テ、丸山君ノ御說ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ請ヒマス

舉手者 多數

○委員長(大田信一君) 多數——可決致シマス、此他原案ニ就キマシテ御採決ヲ煩ハス程ノコトハアリマスマイト思ヒマスガ、御異議ノナイモノト認メテハ如何デス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(大田信一君) 本日ハ是デ閉會致シマス

午後零時四十六分散會

明治三十一年六月一日印刷

明治三十一年六月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局